

会社名 ピープル株式会社

上場取引所 東 スタンダード

コード番号 7865

(https://www.people-kk.co.jp/)

代表者 取締役兼代表執行役 桐淵真人

問い合わせ先: IRチーム 小岩朋紀

TEL:03-3862-2768

◆売上高(単月) 前年対比

(金額単位:千円)

7月度(単月)	前期: 2025年1月期	当期: 2026年1月期	前年同月比
乳児・知育・構成玩具カテゴリー	87,571	124,894	142.6%
メイキングトイカテゴリー	5,917	751	12.7%
その他(遊具・乗り物・育児等)	10,380	3,345	32.2%
海外販売・ロイヤリティ収入	21,325	22,142	103.8%
合計	125,193	151,132	120.7%

2～7月度(累積)	前期: 2025年1月期	当期: 2026年1月期	前年同期間比
乳児・知育・構成玩具カテゴリー	531,550	520,263	97.9%
メイキングトイカテゴリー	13,286	2,873	21.6%
その他(遊具・乗り物・育児等)	75,916	25,659	33.8%
海外販売・ロイヤリティ収入	96,887	89,196	92.1%
合計	717,639	637,991	88.9%

◆7月度発売新商品・リニューアル商品

商品カテゴリー名	商品名	標準小売価格(税込)
乳児・知育・構成玩具カテゴリー	「こども専用ICカードP♪siyoca(ピッしよか)」	¥2,200
	赤ちゃん観察シリーズ「なめかみボール」	¥1,980
	赤ちゃん観察シリーズ「やみつきカミカミ」	¥1,980
	赤ちゃん観察シリーズ「ぐずびたマラカス」	¥1,980
	赤ちゃん観察シリーズ「ひかりのリング」	¥1,430
	赤ちゃん観察シリーズ「放さないディスク」	¥1,980

◆7月度および直近TOPICS

当月は上記のカテゴリーで6品の新商品を発売しました。この内、「P♪siyoca(ピッしよか)」は、交通系ICカードやクレジットカードのタッチ操作に興味を抱く、子どもの好奇心を満たすアイテム。通常の玩具流通に加え、鉄道博物館内のショップや鉄道グッズ専門店にも導入されています。リアルな改札風の販促仕度も効果を発揮し、SNSでも購入した消費者による好意的な情報が拡散され、初動絶好調です。

「1curiosity®(ワンキュリオシティ)」シリーズは日本に続きローンチした英国において早くも高い評価を得ており、英国の独立系玩具店が選定する「Independent Toy Awards2025」でGold Medalを受賞、さらに英国の育児誌「Absolutely Mama」主催の玩具部門アワードでBronze賞を受賞いたしました。英国における金賞受賞という確かな信頼を礎に、英国内での販売展開をさらに前進させてまいります。

●直近のメディア掲載情報

- ・2025/8/1 【プレスリリース】 ロンドンにて1curiosity
発売記念イベント開催

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000000235.000045493.html>

UK Independent
Toy Awards 2025



Absolutely Mama
Award Bronze賞



こども専用ICカード
P♪siyoca(ピッしよか)



■ピープルIR公式 X(旧Twitter)を開設しました。▶https://x.com/People7865_IR

■note連載「あるIRピープルIR担当の試行錯誤」▶https://note.com/people_pr/m/m48d1b60a398c

公式X



昨年および昨年度、事業終了など抜本的な改革により収益改善を図りました。事業終了により確保したリソースを新事業開発チームに最も多く割り当てつつ、新事業をスムーズに、スピーディに創出する新たな仕組みづくりを、中期的な視点に立ち実施しています。直近ではパーパスのキーワード「子どもの好奇心」を軸に8つの新事業チームが進行しており、その「好奇心事業」第一弾を2025年春(2026年1月期)にローンチしました。

一方、このローンチに向けて、当社の取り組みを広く認知していただくことが、商品ブランド育成に重要と考え、広報活動を積極的に行っております。

また、2022年より活動を開始した当社「ピープル赤ちゃん研究所」は当社のコアコンピタンスである「赤ちゃん観察視点」を社内外に伝えることを目的とした活動を展開しており、母親、父親向け「赤ちゃんをあげようワークショップ」を主活動とし、地方自治体や教育機関とのコラボレーションも実施しております。

これら中期を見据えた施策を行いつつ、短期的な収益性改善策として、以下のような活動を継続的に行ってまいります。

- ①既存ロングセラー商品のリブランディングによる、販売数の底上げ

・シリーズ内の新商品の発売キャンペーン

・周年イベントの開催(2026年1月期: やりたい放題40周年、ピタゴラス33周年、お米のおもちゃ15周年)

- ②PR、IR活動にリソースを割き、情報発信力を強化

当社の活動状況は、随時当社発信のnoteでもお伝えしております。 https://note.com/people_pr

(ご参考) 業績予想(2025年8月29日公表)

2026年1月期第3四半期(2025年1月21日～2025年10月20日) 業績予想

	2026年1月期第3四半期 業績予想 (百万円)	前年同期間比 (%)
売上高	1,089	87.5
営業利益	△ 206	—
経常利益	△ 206	—
四半期純利益	△ 22	—